TOSHIBA
Leading Innovation >>>

リモコン送信器取扱説明書

保管用
233246F

対　象　器　種	FRC-1811T SET
適合センサ	DF-20204MXD7,DF-20204MZD7,DF-20204YS1,DF-20204YS2, TMTS01B,TMTS02B

このたびはリモコン送信器をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
正しくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。

工事店様へ　・工事が終了しましたらこの取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

お客様へ　・お読みになったあとも必ず保管してください。

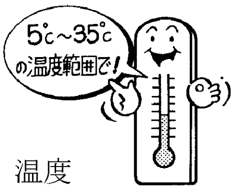
■安全上のご注意

注意　この取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●リモコン送信器を改造したり、部品を変更したりしないでください。
感電、火傷等の原因となります。　改造

●このリモコン送信器は非防水です。
屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。　湿気

●暖房器具、ガス器具等の真上・付近など、温度の高い場所では使用しないでください。
（このリモコンは、5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。）　温度



●リモコン送信器に表示された電圧（単四形乾電池：2本）以外でご使用しないでください。　電源電圧

●リモコン送信器は落としたり、水をかけたり、踏みつけたり、投げたりしないでください。

●長期にわたりリモコン送信器を使用しない場合には乾電池をはずしておいてください。
液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。
また、液もれによる火傷の原因となります。

■使用上のご注意

・リモコン操作は右図のリモコン操作範囲内にておこなってください。

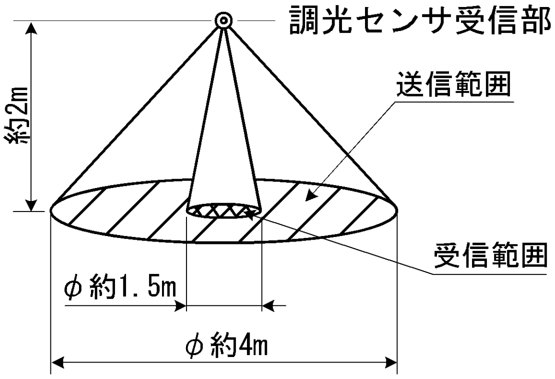
・リモコン操作は送信器を調光センサに向けて操作してください。

注意　確認操作においてボタン操作後、調光センサからの返信信号を受けるまでは調光センサに向けてください。

・ランプ近傍で操作した場合、受信しにくい場合があります。

・リモコン送信器と調光センサの間に遮蔽物がある場合は動作しません。

・乾電池が消耗してくると動作しにくくなりますのでその際は新しい乾電池と交換してください。



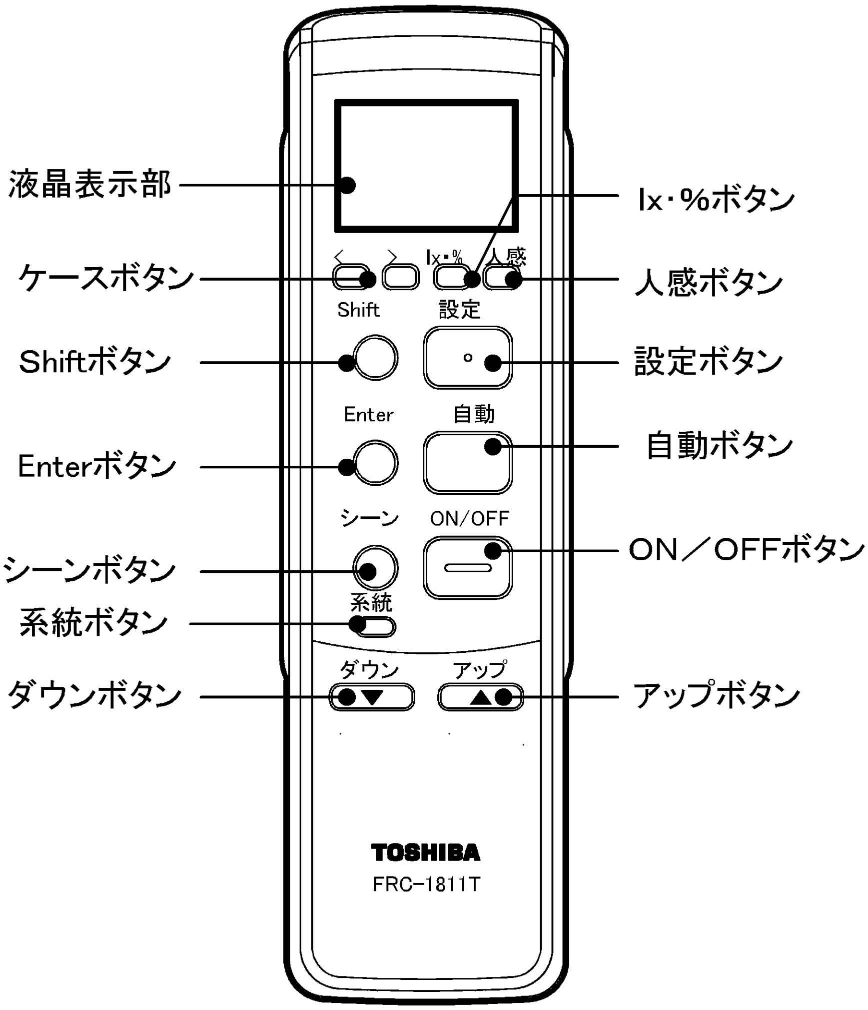
・リモコン送信器および調光センサの送受信部は汚れますと動作しにくくなりますので、乾いた布で拭いてください。

・このリモコンの操作範囲は、センサ直下φ約１．５ｍです。
φ約４ｍまで使用できるのは、手動の21頁**調光運転**, **数値指定調光**、22頁**消灯**です。

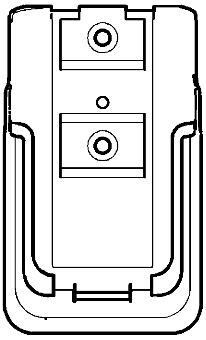
もくじ

■安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
■使用上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
■各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
付属品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
■乾電池の入れかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
■ホルダの取り付けかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
■設定のまえに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
■設定の手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
■あかるさ設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
照度による設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
調光度による設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
■調光範囲の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
調光上限の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
調光下限の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
■人感センサの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
点灯保持時間の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
不在時のあかるさの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１
■拡張設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
照度校正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
あかるさ補正 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３
フェード時間の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４
調光器連動の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５
調光信号種類の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６
ＭＥＳＬ本体アドレスの確認と設定 ・・・・・・・・・・・ １７
照明器具の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７
あかりセンサの系統判別を実行する・・・・・・・・・・・・ １８
リモコンチャンネルの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・ １９
初期値にもどす方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９
■自動運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０
■ケース運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０
■現在の調光度確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０
■調光運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２１
数値指定調光 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２１
■消灯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２
■シーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２
シーン登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２
■設定早見表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２３
■保証 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４

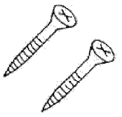
■各部のなまえ



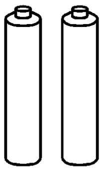
付属品



ホルダ



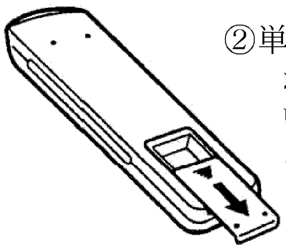
ホルダ取付用
木ねじ（2本）



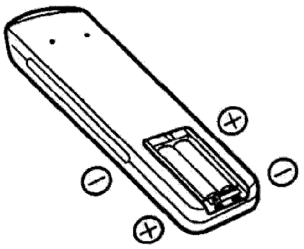
単四形　乾電池（2本）
※付属の電池は動作
確認用です。

■乾電池の入れかた

①裏面のカバーを軽くおさえながら手前に引いてください。



②単４形乾電池を表示に合わせて極性を間違えないように入れて，カバーを閉めてください。

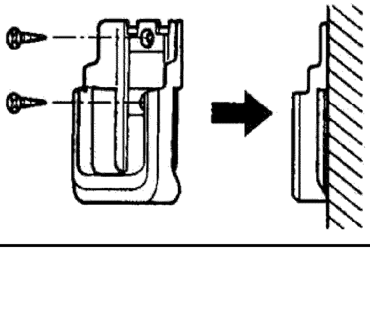


注意
- 乾電池交換の際は必ず２本とも交換してください。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。
- 乾電池の寿命は１日10回の操作で１年が目安です。

■ホルダの取り付けかた

木ねじで固定します。

注意　ホルダに、リモコン送信器を入れたまま調光センサを動作させることはできません。ホルダからリモコン送信器を取り出して操作してください。



■設定のまえに

＊DF-20204YS1, DF-20204YS2では以下の設定は不要です。

・あかるさ設定およびあかりセンサ校正する環境は、什器などを設置した実際の使用環境にておこなってください。

注意 什器などの搬入前に仮設定する場合は、実際の環境にて再度設定が必要となります。

・ 夜間もしくは外光の影響が無い環境にておこなってください。

調光センサ施工

↓

動作確認

①22頁**消灯**にて照明器具を消灯できることを確認してください。
②消灯動作する器具が配線設計通りであることを確認してください。

↓

什器搬入

↓

設定

消灯しない場合は、調光信号線がショートしている場合等がありますので確認してください。

■設定の手順

照明器具の設定

↓

・ご使用になる照明器具に合わせて、調光範囲の下限値を設定します
→(17頁　**照明器具の設定**)

・一部の照明器具では調光信号の変更が必要です。
→(16頁　**調光信号種類の設定**)

センサの校正

↓

・あかるさ設定(5頁**照度による設定**)を設定するには、あかりセンサを実際の照度値にあわせる『校正』作業が必要です。　→(　12頁　**照度校正**)

※自動設定、保守率または、調光度を目標値にする場合は不要です。

目標値の設定

↓

・目標の明るさを設定します。　→(　5頁　**あかるさ設定**　)
・人感センサの動作を設定します。　→(　10頁　**人感センサの設定**)

詳細動作の設定

・ケース切換、人感センサ動作などのフェード時間を設定します。
・人感センサの動作設定
・センサアドレスの設定(TMTS01B, TMTS02Bのみ)

※ 本説明の中で操作手順に応じてリモコン送信器の表示が変化する部分を □ で示しています。

※ リモコン操作時のセンサからの確認ブザー音は、設定内容により変化する場合があります。

■あかるさ設定

＊DF-20204YS1, DF-20204YS2では以下の設定は不要です。

・調光センサは8種類の目標値を記憶しておくことができ、これらをケースと呼びます。

注意 17頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

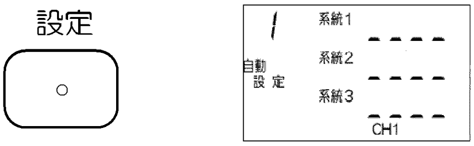
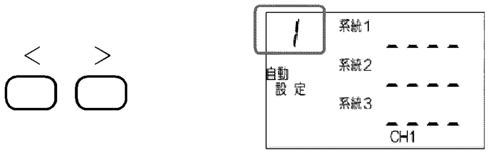
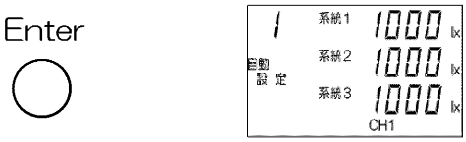
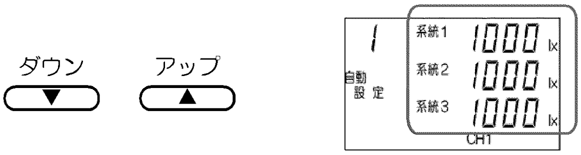
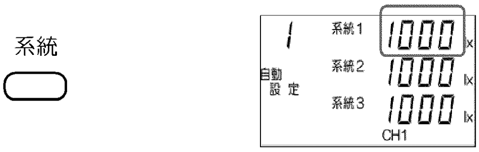
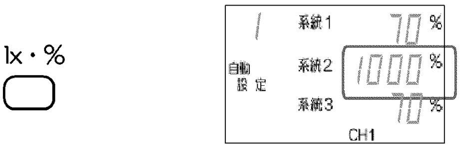
・調光センサは次の2つの方法で目標値の設定ができます。

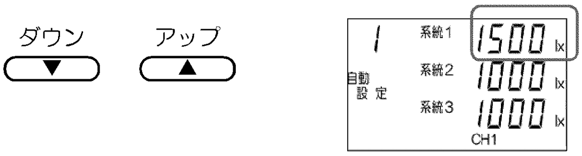
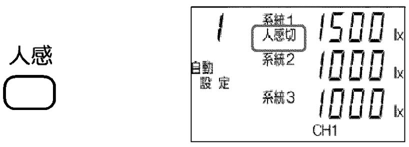
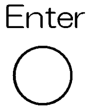
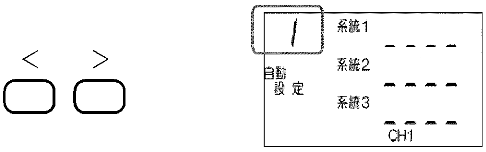
●照度による設定

・あかるさの目標値を照度の数値入力により設定し、センサ直下のあかるさを検知して
あかるさを一定に制御します。

・50lx～3150lxの範囲（50lx刻み）で設定できます。

注意 この設定をする前に必ず12頁**照度校正**をおこなってください。
照度校正を実施しないと目的の照度になりません。

手順１	**[設定]を押す。** （初期値ケース選択は１） 
手順２	**[<][>]で設定するケース番号を選択する。** 
手順３	**調光センサに向けて、[Enter]を押す。** ブザー音が鳴り、現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（_ _ _ _が点滅）は、再度手順３の操作をしてください。  ※現在の設定値が表示されます。
手順４	**設定内容を表示後、[アップ][ダウン]を押す。** 全系統が選択され数字が点滅します。 系統１～系統３全てが同時に[アップ][ダウン]します。 
手順５	**[系統]ボタンを押して系統1, 2, 3 全系統を選択する。** 各系統別々に設定する場合は[系統]ボタンを順に押して、設定する系統を選択します。 選択されている系統は点滅表示します。 
手順６	**（調光度（%表示）になっている場合は[lx･%]ボタン操作で制御目標を照度（lx表示）に切替える。）** 照度の初期値は１０００lx です。 

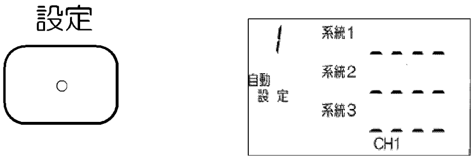
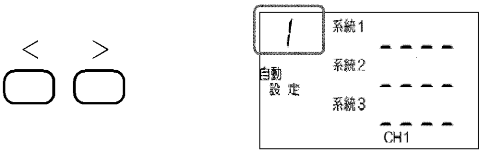
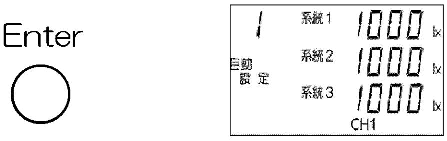
手順７	**[アップ][ダウン]を押して 設定したい照度値にあわせる。** ※50lx刻みで増減します。	
手順８	**[人感入・切]で人感センサの有効 または無効を選択する。** ※「人感切」表示は人感センサ動作を無効に 　設定します。人が不在になっても減光しません。 ※人感入は表示されません。	
手順９	**決定したあと本体に向けて[Enter]を押す。** 「設定値」がセンサに出力されます。 ブザー音が鳴って、設定完了です。	
手順10	**他のケースを設定する場合は、[<][>]で あらためて設定するケース選択を表示する。** （手順２の状態にもどります。）	

注意 設定した照度値と運用中の実際の照度は周囲の環境によりずれが発生する場合があります。

●調光度による設定

・照明器具の調光度を常に一定に制御します。あかりセンサによる制御はおこなわれません。検知するあかるさに関係はく、一定の調光度で制御します。

注意 0%～100%の範囲で変化しますが、実際のあかるさは17頁**照明器具の設定**によります。17頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

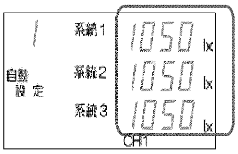
手順１	**[設定]を押す。** （初期値ケース選択は１）	
手順２	**[<][>]で設定するケース番号を 選択する。**	
手順３	**調光センサに向けて、[Enter]を押す。** ブザー音が鳴り、現在の設定されている内容が表示されます。 数値が表示されない場合（_ _ _ _が点滅）は、再度手順３の操作をしてください。	 ※現在の設定値が表示されます

手順４

設定内容を表示後、[アップ][ダウン]を押す。

全系統が選択され数字が点滅します。

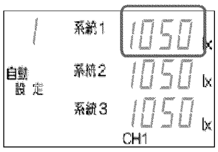
系統１～系統３全てが同時に
[アップ][ダウン]します。



手順５

[系統]ボタンを押して系統1，2，3
全系統を選択する。

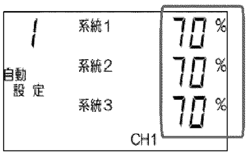
各系統別々に設定する場合は[系統]ボタンを
順に押して、設定する系統を選択します。
選択されている系統は点滅表示します。



手順６

（調光度(ｌｘ表示)になっている場合は
[ｌx･%]ボタン操作で制御目標を
調光度(% 表示) に切替える。）

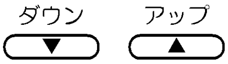
調光度の初期値は７０%です。

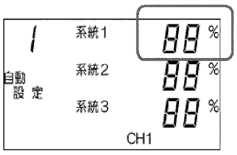


手順７

[アップ][ダウン]を押して
設定したい調光度値にあわせる。

※1%刻みで増減します。



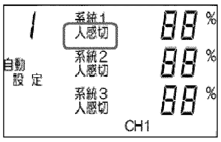


手順８

[人感入･切]で人感センサの有効
または無効を選択する。

※「人感切」表示は人感センサ動作を無効に
　設定します。人が不在になっても減光しません。

※人感入は表示されません。

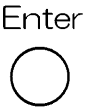


手順９

決定したあと本体に向けて[Enter]を押す。

「設定値」がセンサに出力されます。

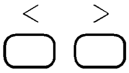
ブザー音が鳴って、設定完了です。

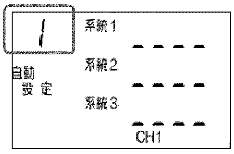


手順10

他のケースを設定する場合は、[<][>]で
あらためて設定するケース選択を表示する。

（手順２の状態にもどります。）





■調光範囲の設定

＊DF-20204YS1，DF-20204YS2では以下の設定は不要です。

・あかるさ一定制御時のとき、ランプのあかるさの変化範囲を制限することができます。
　調光度による設定の場合は、調光範囲の制限はおこなわれません。

・調光上限が調光下限より高くなるように設定してください。
　また上限と下限の差が14%以下となる設定できません。

ポイント

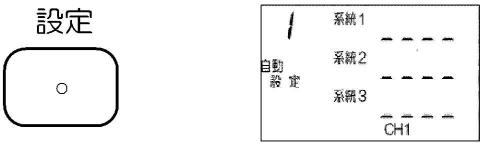
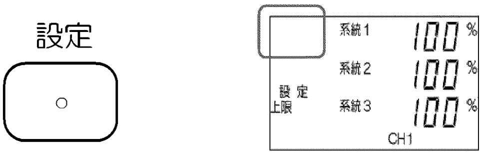
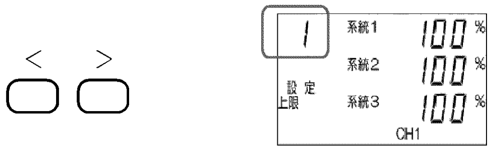
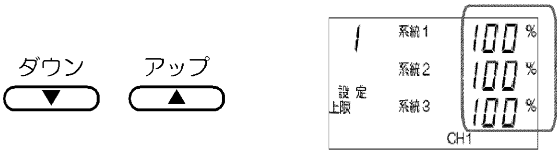
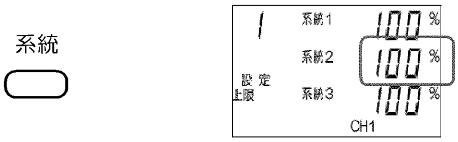
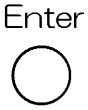
　事務所などで外からの局所的な反射光が調光センサに入射する場合、
　ランプが必要以上に暗くなる場合があります。
　その場合は、調光下限を設定することでランプが暗くなりすぎるレベルを緩和されます。

●調光上限の設定

・周囲が暗くなってもここで設定した値よりあかるくなりません。

注意 0%～100%の範囲で変化しますが、実際のあかるさは17頁**照明器具の設定**によります。
17頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

・調光センサの出荷時の設定は、調光上限値100%に設定されております。

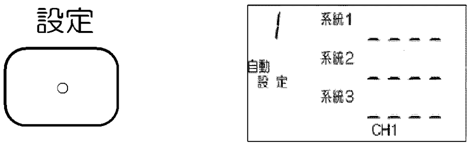
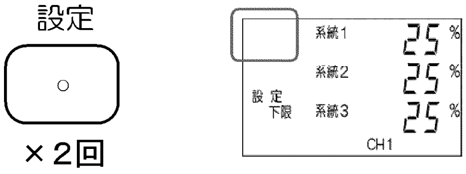
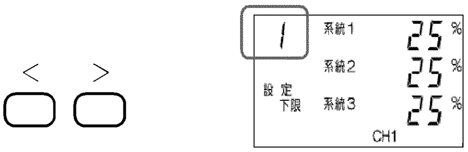
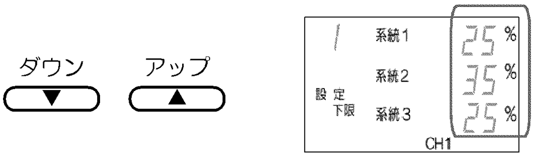
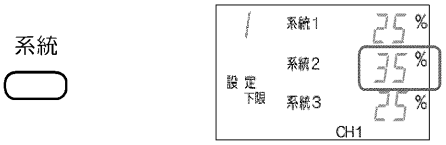
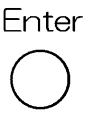
手順１	**[設定]を押す。** 
手順２	**続けて[設定]を押す。** ケース選択は無表示 （初期値１００%） 
手順３	**[<][>]で設定するケース番号を選択する。** ※ケース無表示で設定すると全てのケースが同じ設定になります。 
手順４	**[アップ]または[ダウン]ボタンで上限値を変更する。** ※５%刻みで上下します。 ［Shift］＋［アップ］，［ダウン］操作すると１%刻みで上下します。 
手順５	**[系統]ボタンで設定する系統を選択する。** [系統]ボタンを押すごとに系統１、２、３、全系統→１の順に選択されます。 選択されている系統は点滅表示します。 
手順６	**[Enter]ボタンで、該当する各系統の上限値がセンサに出力される。** ブザー音が聞こえたら、設定完了です。 

●調光下限の設定

・周囲が明るくなってもここで設定した値より暗くなりません。

注意 0%～100%の範囲で変化しますが、実際のあかるさは17頁**照明器具の設定**によります。
17頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

・調光センサの出荷時の設定は、調光下限値25%に設定されております。

手順１	**[設定]を押す。**	
手順２	**続けて[設定]をさらに2回押す。** ケース選択は無表示 （初期値２５%）	
手順３	**[<][>]で設定するケース番号を選択する。** ※ケース無表示で設定すると全てのケースが同じ設定になります。	
手順４	**[アップ]または[ダウン]ボタンで下限値を変更する。** ※５%刻みで上下します。 [Shift] ＋ [アップ]，[ダウン] 操作すると１%刻みで上下します。	
手順５	**[系統]ボタンで設定する系統を選択する。** [系統]ボタンを押すごとに系統１、２、３、全系統→１の順に選択されます。 選択されている系統は点滅表示します。	
手順６	**[Enter]ボタンで、該当する各系統の下限値が出力される。** ブザー音が聞こえたら、設定完了です。	

■人感センサの設定

・人感センサが最後に人を検知してから一定の時間は自動運転（あかるさ設定の目標値）を保持します。これが保持時間です。

保持時間後は設定された不在時のあかるさとなります。

＊DF-20204MXD7,TMTS01Bでは人感子機(DF-20205Y)を接続したとき有効です。

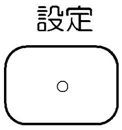
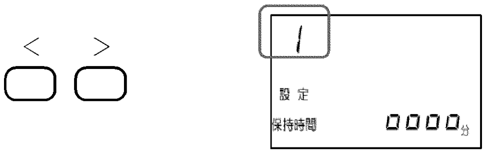
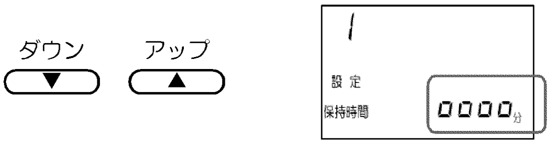
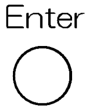
＊DF-20204YS1,DF-20204YS2ではセンサの人感保持時間設定スイッチを、“ポジション０”「リモコン設定」にしたとき有効です。設定できるのは「点灯保持時間の設定」のみです。

●点灯保持時間の設定

・人感不在後（人がいなくなって不在時のあかるさに移行する）の保持時間を設定できます。

・0分～30分の範囲で変化します。

・調光センサの出荷時の設定は、保持時間6分に設定されております。

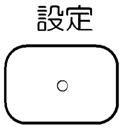
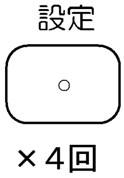
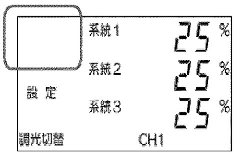
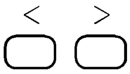
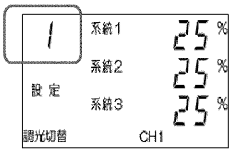
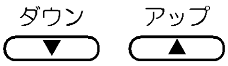
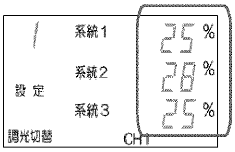
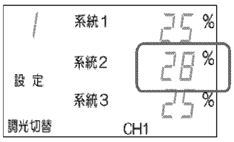
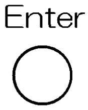
手順１	**[設定]を押す。**	
手順２	**続けて[設定]を3回押す。** （初期値５秒：［oooo 分］表示） ０分の場合でも、約５秒は保持します。	
手順３	**[<][>]で設定するケース番号を選択する。** ※ケース番号無表示で設定すると全てのケースが同じ設定になります。 ※DF-20204YS1, DF-20204YS2ではケース番号が消えた状態で設定してください。	
手順４	**[アップ]または[ダウン]ボタンで数値は上下する。** 最低値は５秒、最高値は３０分	
手順５	**[Enter]ボタンで、該当する保持時間が出力される。** ブザー音が聞こえたら、設定完了です。	

●不在時のあかるさの設定

・人感センサ非検知時（不在時）のあかるさが調光度で設定できます。

注意 0%～100%の範囲で変化しますが、実際のあかるさは17頁**照明器具の設定**によります。
17頁**照明器具の設定**が正しく設定されていないと、設定が正常におこなわれません。

・調光センサの出荷時の設定は、不在時調光度25%に設定されております。

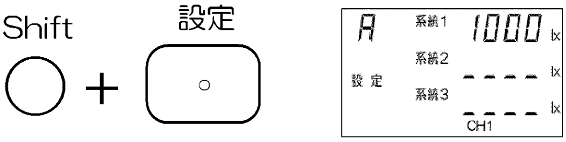
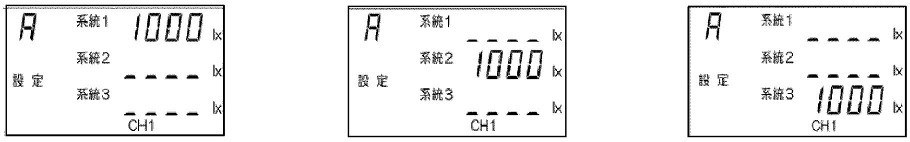
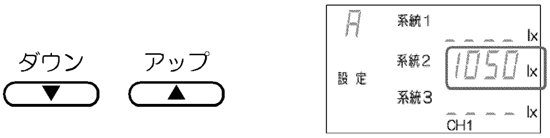
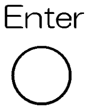
手順１	**[設定]を押す。**		
手順２	**続けて[設定]を4回押す。** ケース選択は無表示 ※最初は２５％を表示しますが、既に設定済の場合は設定済の値を表示します。		
手順３	**[<][>]で設定するケース番号を選択する。** ※ケース無表示で設定すると全てのケースが同じ設定になります。		
手順４	**[アップ]または[ダウン]ボタンで下限値を変更する。** ※５％刻みで上下します。 ［Shift］＋［アップ］，［ダウン］操作すると１％刻みで上下します。		
手順５	**[系統]ボタンで設定する系統を選択する。** ［系統］ボタンを押すごとに系統１、２、３、全系統→１の順に選択されます。 選択されている系統は点滅表示します。		
手順６	**[Enter]ボタンで、該当する各系統の下限値が出力される。** ブザー音が聞こえたら、設定完了です。		

■拡張設定

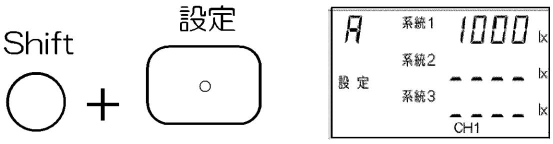
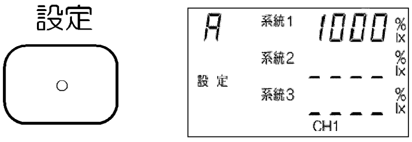
＊DF-20204YS1, DF-20204YS2では以下の設定は使用しません。
・［Shift］を押しながら［**設定**］を押すことで拡張設定モードとなり、
　調光センサの詳細な動作機能を設定できます。

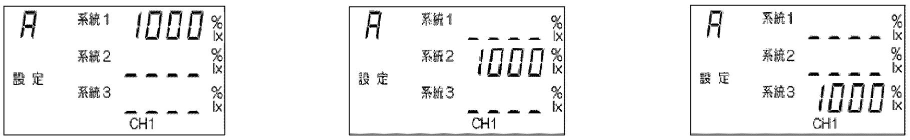
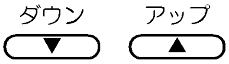
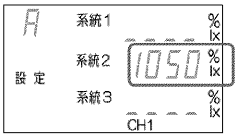
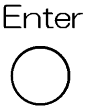
注意 拡張設定モードを解除するには［**自動**］を押してください。

●照度校正(照度計を用いた校正)

手順１	**調光センサの下に三脚などで、照度計を天井面にむけて、一定の高さ(例:事務所の場合は机の高さ約75cm)に設置する。**
手順２	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** 校正のための画面表示になります。 
手順３	**[系統]ボタン操作であかりセンサを校正する系統を選択する。** [系統]の操作で表示が、[表示-1]→[表示-2]→[表示-3]→[表示-1]と変化します。  [表示-1]　[表示-2]　[表示-3]
手順４	**[アップ]または[ダウン]を押して数値を照度計の現在の照度値に近い値にあわせる。** ※50lx刻みで上下します。 
手順５	**調光センサに向けて、[Enter]を押す。** ブザー音が鳴ります。 約５秒後に再び、ブザー音が鳴ります。 

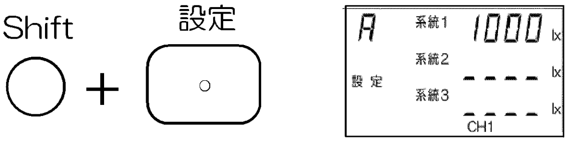
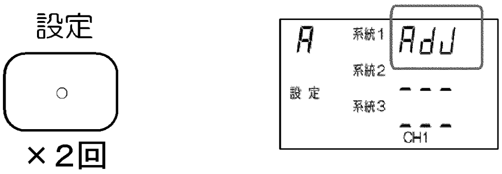
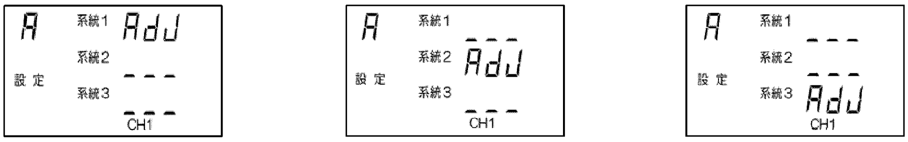
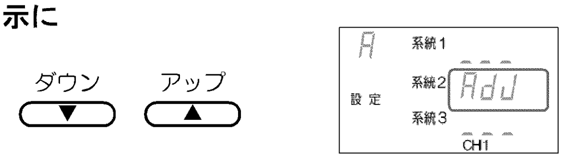
●照度校正(照度計を用いない簡易校正)

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** (照度校正画面) 
手順２	**照度校正画面状態でさらに[設定]を押す。** 校正のための画面表示になります。 

手順３	**[系統]ボタン操作であかりセンサを校正する系統を選択する。** [系統]の操作で表示が、[表示-1]→[表示-2]→[表示-3]→[表示-1]と変化します。  [表示-1]　[表示-2]　[表示-3]
手順４	**[アップ]または[ダウン]ボタン操作で数値は表示上の数値から上下する。** ※50lx刻みで上下します。  
手順５	**調光センサに向けて、[Enter]を押す。** ブザー音が鳴ります。 照明器具のあかるさが７０％になります。 約５秒後に再びとブザー音が鳴ります。  **注意** 校正完了後は、設定したあかるさで動作します。

●あかるさ補正

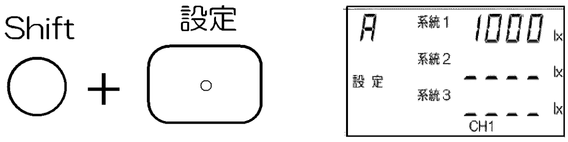
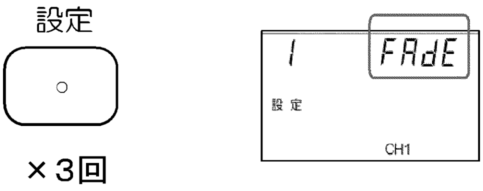
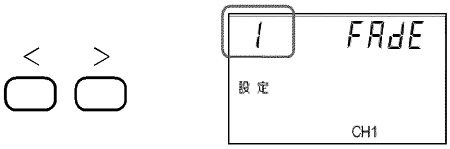
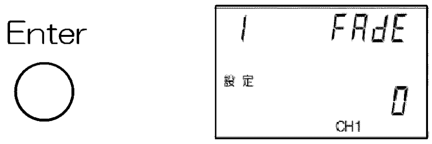
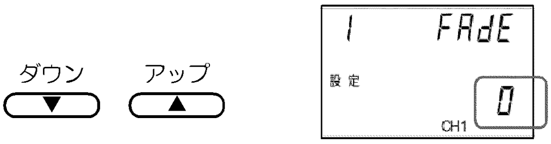
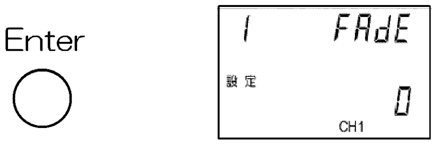
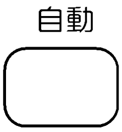
・照度校正後、設定した照度と実際の照度（照度計）との間にずれが発生する場合、あかるさを微調整することができます。

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** (照度校正画面) 
手順２	**[設定]ボタンを2回押す。** 《AdJ》が表示されます。 
手順３	**[系統]ボタン操作であかりセンサを校正する系統を選択する。** [系統]の操作で表示が、[表示-1]→[表示-2]→[表示-3]→[表示-1]と変化します。  [表示-1]　[表示-2]　[表示-3]
手順４	**[アップ]または[ダウン]ボタン操作で照度計表示に近い値に微調整する。** アップまたはダウン信号が送信されます。 表示の《AdJ》が1秒間点滅します。 ボタンを押す毎にブザー音が鳴ります。 

●フェード時間の設定

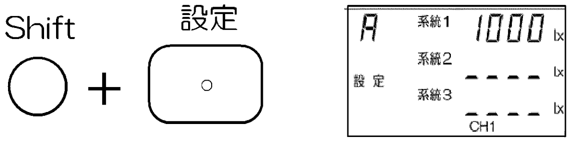
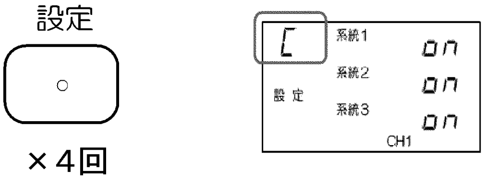
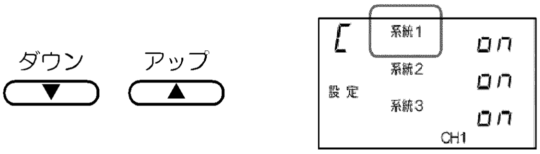
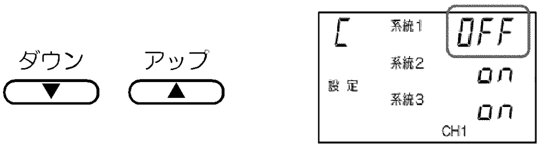
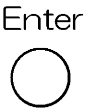
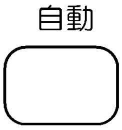
・外部接点によるケースの切り換わりと、人感センサ動作での不在←→人を検知したとき、ランプのあかるさが徐々に変化するフェード機能が働きます。このフェード機能の変化速度を変更することができます。

・設定される数値は全光（調光度100%）から消灯（0%）に変化する時間（秒）をあらわします。

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** （照度校正画面） 
手順２	**[設定]ボタンを3回押す。** 《FAdE》が表示されます。 
手順３	**[＜][＞]で設定するケース番号を選択する。** 外部接点によるケース切り換わりは、ケース番号を選択して各々設定します。 人感センサの「不在→在」検知の場合のフェード時間はケース９に設定、「在→不在」時のフェード時間はケース０で設定します。 
手順４	**[Enter]ボタンを押すと数字が選択される。** ＜例＞フェード時間［０］秒が表示 数値が表示されない場合（_ _ _ _が点滅）は、再度手順３の操作をします。 
手順５	**全系統[アップ]、[ダウン]ボタン操作で数値をあわせる。** ０⇔10⇔20⇔30⇔60⇔90⇔120⇔180からフェード時間を選択します。 
手順６	**調光センサに向けて、[Enter]を押す。** ブザー音が聞こえたら、設定完了です。 
手順７	**[自動]を押す。** 拡張設定モードから通常に戻ります。 

●調光器連動の設定

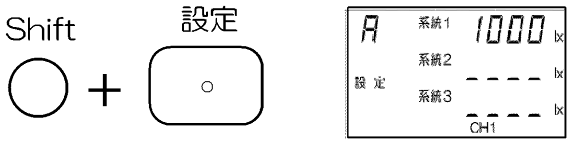
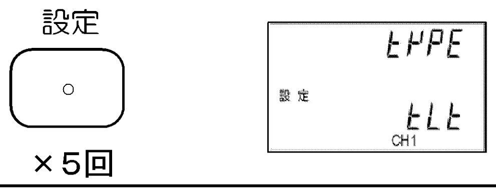
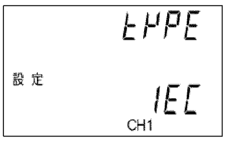
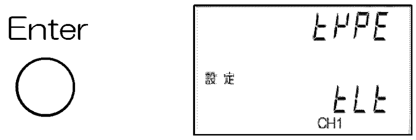
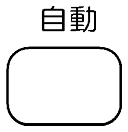
・調光センサに接続される外部調光器（DF-70170-PD）との連動動作を無効にすることができます。

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** （照度校正画面）	
手順２	**[設定]ボタンを4回押す。** （初期値：全系統on）	
手順３	**[アップ]または[ダウン]ボタンで全系統が選択される。** 選択されている系統は点滅表示します。 ［系統］ボタンを押すごとに系統１、２、３、全系統→１の順に選択します。	
手順４	**[アップ]、[ダウン]ボタン操作でon、OFFと変化する。** on（有効）→OFF（無効）→on（有効）	
手順５	**[Enter]ボタンを押す。** ブザー音が鳴ります。	
手順６	**[自動]を押す。** 拡張設定モードから通常に戻ります。	

●調光信号種類の設定

・接続される照明器具（インバータ）の仕様にあわせて調光信号の種類を選択します。
・照明器具の設定(→17頁)も合わせて行ってください。
調光センサの出荷時の設定は、IECです。

注意 調光信号種類が異なると、正しく調光制御できません。

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** (照度校正画面) 
手順２	**[設定]ボタンを5回押す。** (初期値：ｔｌｔ) 
手順３	**手順2で、[アップ]または[ダウン]ボタン操作で表示は4種類に切替わる。** 
手順４	**[Enter]ボタンを押す。** ブザー音が鳴ります。 
手順５	**[自動]を押す。** 拡張設定モードから通常に戻ります。 

【表】 照明器具による設定の例

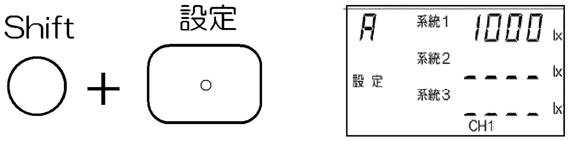
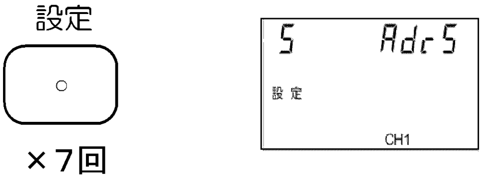
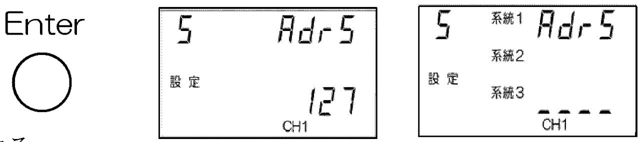
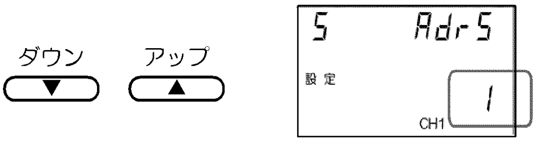
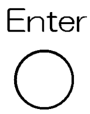
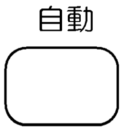
始動方式	ランプ	調光信号	調光下限(%)	照明器具の例
PD9	FHF32/16	IEC	25	FHR-42800-PD9
	FHF86	IEC	35	FHT-91005-PD9
	FHP105	IEC	60	FHT-91311M-PD9
	FHP32	IEC	35	FHT-33300N-PD9
	FHT42/32/24	IEC	30 ※1	FHD-41011-PD9
PE,DB○	HF32	IEC	5	FHR-42800N-DBH
LD	LED	IEC	2	LEDD-66007W-LD1
DA○	HF32	IEC	1	FHT-41007-DAM
PD1/PD2 ※2)	HF32,FHG70	TLT	25	FHR-71000-PD
	110W	TLT	60	

※1　設定用の値であり照明器具の下限調光値とは異なる場合があります。
※2　主に生産完了済み照明器具への設定となります。

●MESL本体アドレスの確認と設定

・TMTS01B,TMTS02Bではアドレスを設定する必要があります。アドレスを設定してください。

注意 調光センサごとにアドレスが異なるよう設定してください。

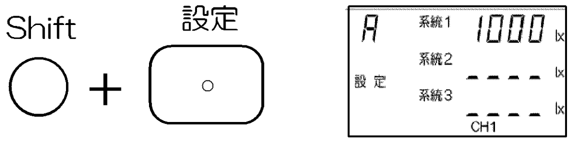
手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** （照度校正画面）	
手順２	**[設定]ボタンを7回押す。** （ＭＥＳＬ本体アドレス設定画面）	
手順３	**[Enter]ボタンを押すと本体アドレス確認信号が送信される。** ・アドレスを表示します。 ・受信エラー時は“＿＿＿＿“点滅表示する。	返信信号を受信後の表示　受信エラー時の表示
手順４	**[アップ]、[ダウン]ボタン操作で数値（MESL本体アドレス）をあわせる。** （初期値は１） ※０～１２７で、設定してください。	
手順５	**[Enter]ボタンを押す。** ブザー音が鳴ります。	
手順６	**[自動]を押す。** 拡張設定モードから通常に戻ります。	

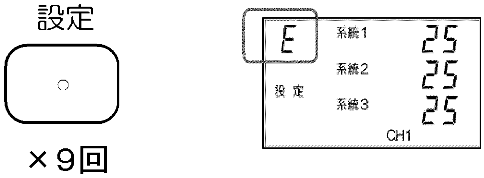
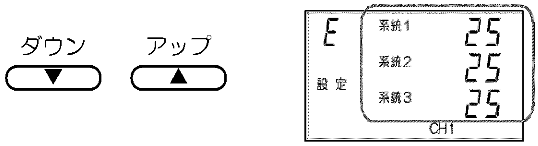
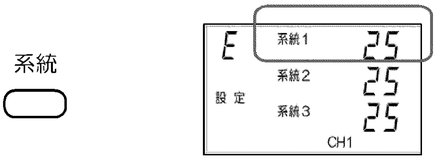
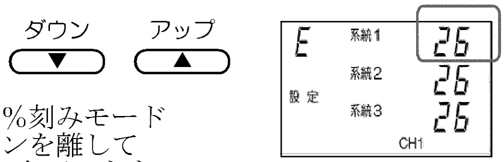
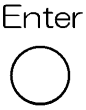
●照明器具の設定

・調光センサに接続される照明器具の調光範囲の下限値を設定します。

注意 照明器具の設定が正しく設定されていないと、各種設定が正常におこなわれません。

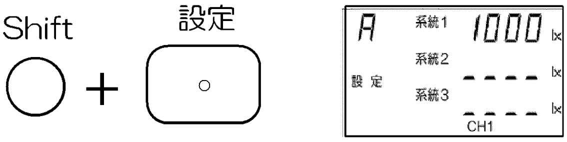
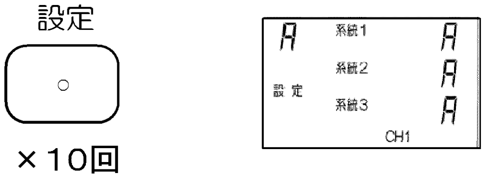
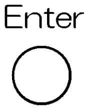
例：25%～100%調光タイプの照明器具をご使用の場合は、「25」と設定します。
　　調光センサの出荷時の設定は、「25」に設定されております。

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** （照度校正画面）	

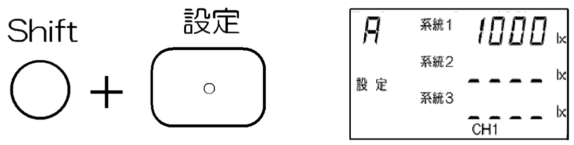
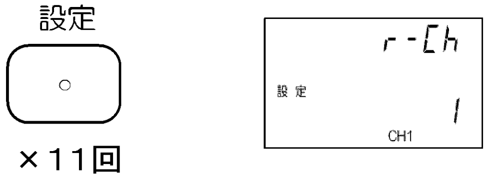
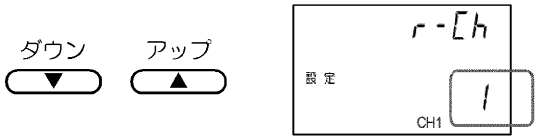
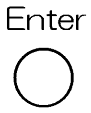
手順２	**[設定]ボタンを9回押す。** （器具の種類変更設定画面） 左上に［E］を表示します。	
手順３	**手順2の状態で[アップ]、[ダウン]ボタンを押すと全系統が選択される。** （選択されている系統は点滅表示）	
手順４	**[系統]ボタンで設定する系統を選択する。** [系統]ボタンを押すごとに系統１、２、３、全系統→１の順に選択されます。 選択されている系統は点滅表示します。 ※系統毎に照明器具調光タイプが異なる場合には系統毎に設定します。	
手順５	**[アップ]、[ダウン]ボタンを押して数値をあわせる。** 25⇔50⇔60⇔2⇔5⇔25と上下します。 ※[Shift]＋[アップ]または[ダウン]ボタン操作で１％刻みモードに入り、一旦１％刻みモードに入ると[Shift]ボタンを離して[アップ]、[ダウン]ボタン操作を行っても１％ずつ上下します。	
手順６	**調光センサに向けて、[Enter]を押す。** ブザー音が鳴り設定完了です。	

●あかりセンサの系統判別を実行する

・あかりセンサ子機（DF-20205NX）を使用しないときは必要ありません。

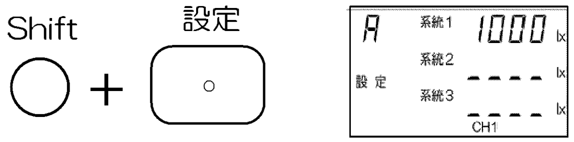
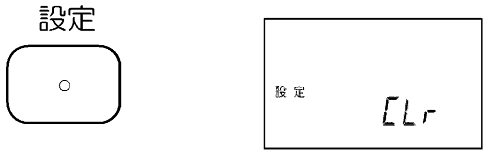
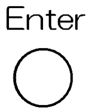
手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** （照度校正画面）	
手順２	**[設定]ボタンを10回押す。** （あかりセンサ系統判別画面）	
手順３	**[Enter]ボタンを押す。** ブザー音が鳴ります。 各系統のあかるさが変化し約１５秒後に再びブザー音が鳴ります。	

●リモコンチャンネルの変更

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** （照度校正画面）	
手順２	**[設定]ボタンを11回押す。** （現在のＣｈを表示）	
手順３	**[アップ]、[ダウン]ボタンを押して数値をあわせる。** 数字が１→２→１または２→１→２と変化	
手順４	**[Enter]ボタンを押す。** リモコンチャンネルがリモコン本体に記憶されます。	

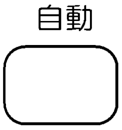
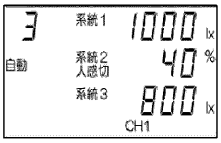
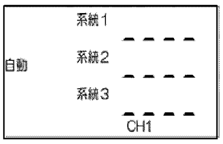
●初期値にもどす方法

・調光センサの設定を出荷時設定に戻します。
注意　TMTS01B，TMTS02Bのアドレスは初期化されません。

手順１	**[Shift]を押しながら[設定]を押す。** （照度校正画面）	
手順２	**[設定]ボタンを12回押す。** 画面左右下にCLrと表示されます （クリア操作）	
手順３	**[Enter]ボタン操作にて、設定ALLクリア信号を送信する。** ブザー音が鳴ります。	

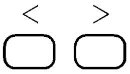
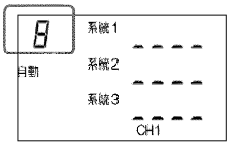
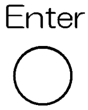
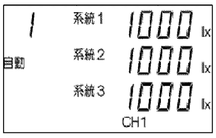
■自動運転

・調光センサに設定された内容にしたがい自動運転します。
　手動運転から自動運転にもどす場合に、使用します。

手順	**調光センサに向けて、[自動]を押す。** ・現在の設定値が表示されます。 ・受信エラー時は“＿＿＿＿“点滅表示します。	  返信信号を受信後の表示  受信エラー時の表示

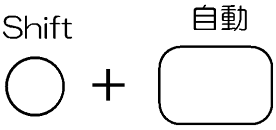
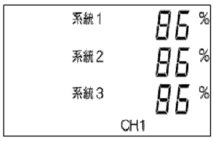
■ケース運転

＊DF-20204YS1，DF-20204YS2では以下の操作はできません。
・ケースを変えることでシーン変化のように使用することができます。
・この操作はあらかじめケースに値が設定されていることが必要です。(5頁あかるさ設定)

手順１	**自動運転操作後[<]、[>]ボタン操作する。** ケース番号が変化します。	 
手順２	**ケースを選択した後、[Enter]ボタンを押す。** 各選択さたケースが再現され、 運転内容が表示されます。	 

■現在の調光度確認

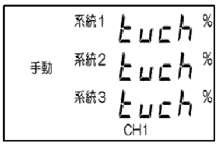
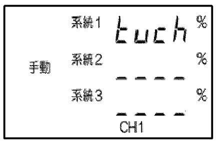
＊DF-20204YS1，DF-20204YS2では以下の操作はできません。
・調光センサの現在の点灯状態（調光度）を確認できます。

手順	**調光センサに向けて、 [Shift]を押しながら、[自動]を押す。** 現在の調光度が表示されます。	 

■調光運転

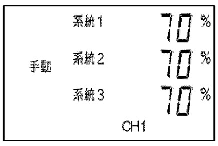
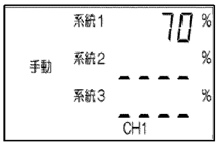
＊DF-20204YS1，DF-20204YS2では以下の操作はできません。

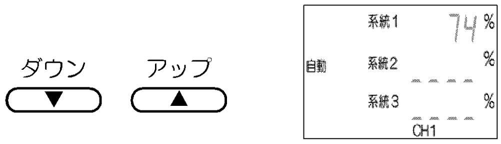
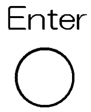
・明るさを確認しながら一時的に手動で明るさを変えたい場合に使用します。

手順１	**[アップ]または[ダウン]ボタンを押す。** ブザー音が鳴り、ランプの明るさが変化します。 系統１～系統３が一斉に明るさ変化します。 系統毎の操作は手順２の操作です。	ダウン ▼　アップ ▲	
手順２	**[系統]ボタンを押すことに1、2、3、 全系統→1の順に選択する。** （選択されていない系統は_ _ _ _表示）	系統	
手順３	**[アップ]または[ダウン]ボタンを押す。** 選択された系統のランプの明るさが 変化します。	ダウン ▼　アップ ▲	
手順４	**系統が選択された状態で[アップ]を押しながら [ON/OFF]を押す。** その系統が点灯します。	アップ ▲ ＋ ON/OFF	
手順５	**系統が選択された状態で[ダウン]を押しながら [ON/OFF]を押す。** その系統が消灯します。	ダウン ▼ ＋ ON/OFF	

●数値指定調光

・指定した調光度で点灯します。

手順１	**[Shift]ボタンを押しながら、[アップ]、 [ダウン]ボタンを押す。** 全系統に［７０％］が表示されます。 （数字点滅）	Shift ＋ ダウン ▼　アップ ▲	
手順２	**[系統]を押す。** 系統１→系統２→系統３→全系統→系統１ と選択される系統が切り替わります。 ※［▲］、［▼］ボタンの代わりに［Shift］ボタンを 押すと数値入力は解禁されその系統は_ _ _ _表示 に戻ります。	系統	

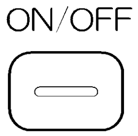
手順３	**[アップ]、[ダウン]ボタン操作で該当する系統の数値は表示上の数値から上下する。** ※1%刻みで上下します。 
手順４	**調光センサに向けて[Enter]ボタンを押す。** ブザー音が鳴り、表示した調光度で点灯します。 

■消灯

・調光センサに接続される照明器具を強制的に消灯することができます。

注意 消灯操作後、調光センサの電源を切断し、再投入した場合は消灯動作となります。

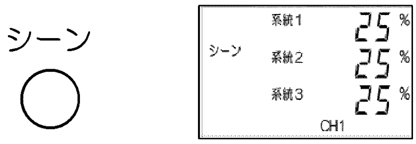
＊DF-20204YS1,DF-20204YS2では、リモコンでＯＦＦにすると人感センサによる点灯はしません。

手順	**調光センサに向けて、[ON/OFF]を押す。** ブランク表示となり、全系統ＯＮ／ＯＦＦ信号が送信され全系統がＯＮまたはＯＦＦします。 

■シーン

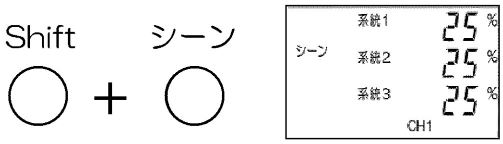
＊DF-20204YS1, DF-20204YS2では以下の操作はできません。

・調光センサにあからじめ登録されているあかるさ(調光度)を再現します。

手順	**調光センサに向けて、[シーン]を押す。** シーン状態に再現されます。 **注意** 調光度を一定で制御されます。 

●シーン登録

・シーンとして再現したいあかるさを更新します。

手順１	**[アップ]または[ダウン]操作などで登録したいあかるさにする。** (→21頁　**調光運転**　参照)
手順２	**調光センサに向けて、[Shift]を押しながら[シーン]を押す。** 現時点の状態（調光度）がシーンとして設定登録されます。 

■設定早見表

接続動作確認	照明器具の設定	あかるさ設定	あかりセンサの校正	
ON/OFF		照度設定 調光度設定	照度校正	あかるさ補正
ON/OFF	Shift ＋ 設定	設定	ダウン ▼ アップ ▲ 照度計を任意の照度に合わせる	Shift ＋ 設定
	×10回 ◦ 拡張設定⑪	< > 設定するケースを選択	Shift ＋ 設定 拡張設定①	×2回 ◦ 拡張設定③
	Enter 現在の設定内容を確認	Enter 現在の設定内容を確認	ダウン ▼ アップ ▲ 照度計の数値に合わせる	ダウン ▼ アップ ▲ 押すごとに補正
	ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる	lx・% 設定する内容を選択	Enter 校正完了	
	Enter 設定完了	ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる		
		人感 人感センサの有効無効を選択		
		Enter 設定完了		

■設定早見表

調光範囲の設定		人感センサの設定		拡張設定（抜粋）	
調光上限の設定	調光下限の設定	点灯保持時間の設定	不在時のあかるさ設定	フェード時間の設定	調光器連動の設定
設定	設定	設定	設定	Shift + 設定 [Shift]を押しながら押す	Shift + 設定 [Shift]を押しながら押す
設定 ×1回	設定 ×2回	設定 ×3回	設定 ×4回	設定 ×3回	設定 ×4回
< > 設定するケースを選択	< > 設定するケースを選択	< > 設定するケースを選択	< > 設定するケースを選択	< > 設定するケースを選択	Enter 現在の設定内容を確認
系統 設定する系統を選択	系統 設定する系統を選択	系統 設定する系統を選択	系統 設定する系統を選択	系統 設定する系統を選択	ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる
ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる	ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる	ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる	ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる	ダウン ▼ アップ ▲ 設定する値に合わせる	Enter 設定完了
Enter 設定完了	Enter 設定完了	Enter 設定完了	Enter 設定完了	Enter 設定完了	

■保証について

・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

フリーダイヤル 0120-66-1048

受付時間：365日　9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-861-6485（通話料：有料）

FAX 0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社　応用商品推進部　〒140-8660　東京都品川区南品川2-2-13（南品川JNビル）　TEL (03) 5479-3403　FAX (03) 5479-3393

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。　233246F